



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2019年7月31日

上場会社名 株式会社 関西スーパーマーケット 上場取引所 東
 コード番号 9919 URL http://www.kansaisuper.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 耕治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 中西 淳 TEL 072-772-0341
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	30,790	1.1	398	37.9	486	24.5	344	48.8
2019年3月期第1四半期	30,463	0.5	288	0.9	390	2.4	231	35.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 304百万円 (30.4%) 2019年3月期第1四半期 233百万円 (9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	10.97	—
2019年3月期第1四半期	7.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	59,180	33,496	56.6
2019年3月期	58,788	33,506	57.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 33,496百万円 2019年3月期 33,506百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
2020年3月期	—				
2020年3月期（予想）		8.00	—	8.00	16.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2019年3月期期末配当金の内訳
 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭（創業60周年記念配当）

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	62,930	1.9	980	12.0	1,140	7.7	740	8.7	23.53
通期	125,600	1.6	2,180	9.7	2,480	6.1	1,480	8.0	47.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	31,940,954株	2019年3月期	31,940,954株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	496,942株	2019年3月期	496,942株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	31,444,012株	2019年3月期1Q	31,444,092株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や企業収益が底堅く推移する中で、緩やかな景気回復基調が続きました。一方、米中貿易摩擦問題の激化による中国経済の減速などにより景気が下振れするリスクを含んでおり、先行きは不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、ネットビジネスの台頭やドラッグストアの食品取扱いの拡充など業態を越えた競争激化に加え、個人消費が力強さを欠く中、本年10月に予定されている消費増税の影響が懸念されます。また、人件費の上昇や原材料費の高騰および物流コストの増加など経営環境は大きく変化しております。

このような状況の中、3ヵ年中期経営計画の2年目となる2019年度の取組みとして「健康経営」「生産性向上」「教育」を3つの柱に掲げ「営業方針」「人材力方針」「経営管理方針」「成長戦略」「コンプライアンス強化」「全社課題解決施策」を基本方針とし、お客様と従業員の「負」の解消を図る「ソリューション型スーパーマーケット」の実現に向け全社を挙げて引き続き取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の取組みとして「健康経営」では、4月から全社で就業時間内の禁煙を開始するとともに「ワークライフバランス」の定着を目的に勤務間インターバル制度の定着を目指し「身体的な健康」「精神的な健康」「労働環境改善」に区分し、従業員の健康意識を高める取組みを継続しております。

「生産性向上」では、「フィールドワークによる作業効率向上」「ハードの導入による作業合理化」「システム投入による作業種類数の削減」そして「神戸赤松台センター稼働による店舗作業削減」に取り組んでおり、新たなハードを導入することによる作業合理化とともに、自動発注システムやキャッシュリンクなどのシステム投入による作業種類数の削減に継続して取り組んでおり、セルフ精算レジを6店舗に導入し、合計48店舗、キャッシュリンクシステムを7店舗に導入し、合計45店舗となりました。当期中に全店導入の完了を予定しております。また、4月から開店前の集中作業軽減を目的に、株式会社阪急フードプロセスに輸入豚肉5品目の加工を委託し、5店舗へ商品供給を開始しております。

「教育」では、6か月間の実習期間を経て正配属した新入社員を対象に、知識の修得と不安の解消を目的とした「新入社員教育プログラム」に基づき職場への定着化を進めました。また、高齢者やお身体の不自由な方が、安心して楽しくお買物ができる店舗づくりを目指し「ユニバーサルマナー」の研修を実施することで相手のことを思いやり、行動できる人材育成にも取り組んでおります。

本年12月に創業60周年の節目を迎えるにあたり、日頃のご愛顧に対し感謝の気持ちをこめて、本年4月より記念セールや記念商品、そして記念イベントや記念企画などの創業60周年記念企画を実施しております。

当第1四半期連結累計期間に改装店舗として、4月に川西店(兵庫県川西市)をリニューアルオープンするとともに、お客様の買物環境や従業員の職場環境整備を中心とした小改装を1店舗で実施いたしました。また、お客様のさらなる利便性向上を目指し、昨年11月より兵庫県下27店舗で開始しました阪急阪神グループのSポイントサービスの取扱いを本年4月より大阪府下36店舗、奈良県下1店舗を加えた全店舗に導入いたしました。これにより、全店舗で電子マネー(関西スーパーおさいふカード)、クレジットカード(関西スーパーカード)に加えて、共通ポイントカード(Sポイントカード)のサービスご利用が可能となりました。

環境・社会貢献活動では、六甲山において「ブナを植える会」の活動に賛同し、当社新入社員が森林保全活動に参加、協力することに加え、お客様を招待し、植樹活動を実施しました。また、マイバッグ利用推進によるレジ袋削減に継続して取り組むとともに、「フードバンク」を通じて社会福祉施設などに食品寄贈を行っております。地域との連携として、日常のお買い物にご不便されている高齢者、お身体の不自由な方などに商品をお届けする移動スーパー「とくし丸」を2店舗で運行開始し、合計10号車となりました。

以上の結果、当社グループの第1四半期連結累計期間の営業収益は307億90百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は3億98百万円(前年同期比37.9%増)、経常利益は4億86百万円(前年同期比24.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億44百万円(前年同期比48.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は179億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億71百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が6億13百万円増加したことによるものであります。固定資産は412億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億80百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のその他(投資有価証券)が1億83百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は591億80百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は188億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億18百万円増加いたしました。これは主に流動負債のその他(未払金および未払費用等)が12億92百万円増加した一方、賞与引当金が4億66百万円減少したことによるものであります。固定負債は68億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億16百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が4億50百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は256億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億1百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は334億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が30百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が24百万円、退職給付に係る調整累計額が15百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は56.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,763,970	12,377,788
売掛金	1,411,659	1,430,803
商品	2,796,443	2,700,018
貯蔵品	49,069	58,001
その他	1,312,554	1,339,078
流動資産合計	17,333,697	17,905,690
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,418,241	9,423,790
土地	20,878,636	20,878,636
その他(純額)	2,406,243	2,483,851
有形固定資産合計	32,703,121	32,786,278
無形固定資産	479,600	498,599
投資その他の資産		
差入保証金	4,680,517	4,644,156
退職給付に係る資産	933,507	937,418
その他	2,658,306	2,408,327
投資その他の資産合計	8,272,331	7,989,902
固定資産合計	41,455,054	41,274,780
資産合計	58,788,752	59,180,470

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,721,129	10,828,667
1年内返済予定の長期借入金	1,872,000	1,872,000
未払法人税等	313,060	197,911
賞与引当金	871,944	405,256
その他	4,240,460	5,533,435
流動負債合計	18,018,593	18,837,271
固定負債		
長期借入金	3,390,000	2,940,000
退職給付に係る負債	838,328	850,826
資産除去債務	424,623	425,565
その他	2,610,339	2,630,053
固定負債合計	7,263,291	6,846,446
負債合計	25,281,885	25,683,717
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,862,933	9,862,933
資本剰余金	10,906,837	10,906,837
利益剰余金	12,918,148	12,948,281
自己株式	△308,351	△308,351
株主資本合計	33,379,568	33,409,702
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,498	156,616
退職給付に係る調整累計額	△54,200	△69,565
その他の包括利益累計額合計	127,298	87,051
純資産合計	33,506,866	33,496,753
負債純資産合計	58,788,752	59,180,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	29,960,411	30,297,838
売上原価	22,900,740	23,087,919
売上総利益	7,059,671	7,209,919
営業収入	503,466	492,944
営業総利益	7,563,137	7,702,864
販売費及び一般管理費	7,274,137	7,304,380
営業利益	288,999	398,483
営業外収益		
受取利息	1,674	1,445
受取配当金	22,391	13,421
受取手数料	43,866	45,881
リサイクル材売却益	22,639	26,481
その他	33,553	18,160
営業外収益合計	124,124	105,391
営業外費用		
支払利息	12,592	9,149
持分法による投資損失	3,063	122
株式管理費	4,822	5,430
その他	2,253	2,952
営業外費用合計	22,732	17,654
経常利益	390,392	486,220
特別利益		
投資有価証券売却益	—	52,297
受取保険金	—	6,541
特別利益合計	—	58,838
特別損失		
固定資産除売却損	7,245	6,072
投資有価証券売却損	—	51,671
災害による損失	32,061	1,554
特別損失合計	39,307	59,298
税金等調整前四半期純利益	351,085	485,761
法人税、住民税及び事業税	60,972	55,464
法人税等調整額	58,310	85,375
法人税等合計	119,283	140,839
四半期純利益	231,801	344,921
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,801	344,921

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	231,801	344,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,875	△21,253
退職給付に係る調整額	△22,003	△15,365
持分法適用会社に対する持分相当額	△49	△3,628
その他の包括利益合計	1,822	△40,246
四半期包括利益	233,624	304,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,624	304,674
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。